

NPO法人 海浜の自然環境を守る会ニュース

第71号 2022年6月15日

663-8143 西宮市枝川町19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

第19回通常総会開催

4月30日午前10時より浜甲子園センターにおいて、第19回通常総会を開催いたしました。

西宮市より、尼子土木局局长、藤原公園緑化部部长、船越花と緑の課課長、川元花と緑の課係長のご臨席をいただき、尼子局长からは、自然環境の保護には市民の意識と継続が重要です、これからも活動を期待しますとの言葉をいただきました。

現会員92名中出席18名、委任状51名で会は成立し、第1号から第5号まで全ての議案が承認されました。本年度新役員体制は以下のようになりました。

理事長 前田文信

副理事長 菅野雅一、前野裕美子

理事 青石弘、岡田孝二、白川政昭、高松眞一
長村富美子、本井敏雄、山縣國宏

監事 小川哲男、高橋良三



理事長再任を引き受けて

この度の第19回通常総会が無事に対面式で開催され、会員の皆さまからご支持を賜り、理事長を再任させていただきましたことになりました。

特にこの2年間は色々な制約があつて活動が十分出来ない状況が続いていましたが、私たちの活動は継続を伴わなければ存在意義を失ってしまいます。私は理事になってからこのNPO活動を通じて、いかに“甲子園の浜”が都会の中にありながら貴重な自然が残されているかを一層強く感じ、学ぶこと、伝えること、積極的に守り維持することを心がけてまいりました。これからも私たちの活動を支援していただける輪を拡げられるよう、会員の皆さまとご一緒に取り組んでいきたいと思っております。日頃のご協力に感謝し、これからもよろしくお願い申し上げます。 前田 文信

新川水門見学会

高潮対策と巨大地震による津波対策のため西宮市今津浜で進められている新川水門と統合排水機場建設のうち、新川水門が昨年末に完成し、地元今津連合福祉会・甲子園地区埋立事業対策協議会が参加する見学会が石井市長も参加して、5月25日開催されました。

新川水門は、海底からの高さ43.8m、幅41m、2段ローラーゲート式の扉体の高さ8.7m、幅25mです。その扉体といわれるゲートが降下して水路を締め切る様子を見学しました。



扉体が下がる



背面のゲートは水上面で停止し、手前のゲートは海底まで下がる

手前のゲートが海底に達した状態



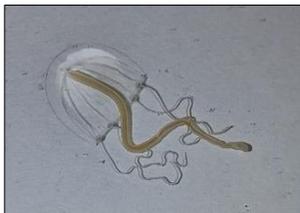
閉鎖の最終工程まで通常操作で約25分、緊急操作で約10分。この新川水門と一連の防潮堤の整備により堤内地の浸水範囲が約9割縮減されるということです。

♥ いいもの見つけ ♥

サルシアクラゲ

2022年3月9日、久しぶりに甲子園浜に行きました。波打ち際には潮の花（泡）がずっと打ち上がっていました。動物プランクトンが大発生した証です。それを餌にシミコクラゲなど小さな生き物がやって来ます。図鑑によれば私達が目にするクラゲは5種類くらいで、見えないような小さいクラゲはその十倍もいるそうです。

網を振ってみました。すると、いつもの4mmくらいのシミコクラゲがたくさん採れました。少し大きなクラゲも入っていました。



←このクラゲはサルシアクラゲといいます。傘の高さは10mmくらいで4本の長い触手があります。そして、傘の高さの3～4倍もある口柄こうへいが伸びていて先端の口から食べるというから驚きです。

北海道など北の海に生息しているクラゲですが、どのようにして大阪湾奥の甲子園浜にやって来たのでしょうか。

向山 裕子



活動報告

- 4月30日(土) 令和4年度(第19回)通常総会開催
シギ・チドリ観察会 38名参加
- 5月7日(土) 阪神生物学会植生調査 26名参加
- 5月29日(日) 遺跡探検 40名参加
- 6月5日(日) 海浜清掃 191名参加
清掃協力:(株)ヤマサ環境エンジニアリング
可燃ごみ 170kg 不燃ごみ 20kg 収集



活動予定

- 6月13日(月)・14日(火) 大阪湾生き物一斉調査
- 7月17日(日) ブルーサンタ海浜清掃
- 8月11日(木) 生活クラブ生協主催
生き物観察&海浜清掃
- 9月11日(日) TOYOTA SOCIAL FES! Presents
甲子園浜の海岸を守ろうプロジェクト



6/5(日) 海浜清掃: 西宮海上保安署とともに「未来に残そう青い海!」活動のようす

ホウロクシギ飛来

シギ類の中で最大のホウロクシギが、4月18日 甲子園浜に飛来しました。

前回の飛来から3年ぶりです。2002年11月甲子園自然環境センターが開館して以来、野鳥観察を続けてきて、今回で7度目の飛来です。

飛来日を調べてみると(表参照→)
「4月18日」のキーワードを発見しました。少し前後はありますが、もしかしたら来年の4月18日は8度目の飛来になるかもしれません。毎年4月18日は要観察日です。

飛来回数	飛来日(年.月.日)
1	2004.4.18
2	2008.4.18
3	2011.6.18
4	2013.4.18
5	2015.4.18
6	2019.3.28
7	2022.4.18



撮影: 杉田義彦氏